

10/521341

(19) 世界知的所有権機関  
国際事務局(43) 国際公開日  
2004 年 3 月 18 日 (18.03.2004)

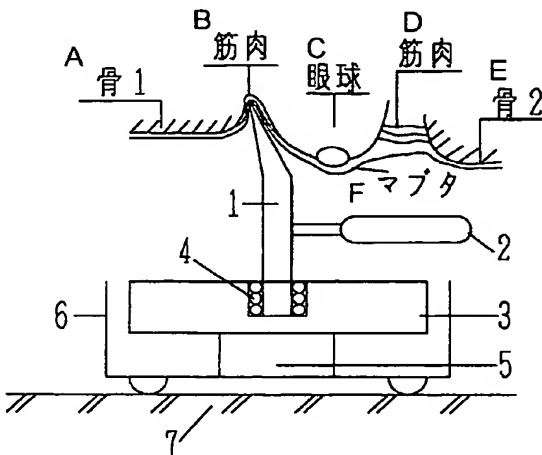
PCT

(10) 国際公開番号  
WO 2004/021962 A1

- (51) 国際特許分類<sup>7</sup>: A61H 7/00, A61F 9/00 (81) 指定国 (国内): AU, CA, CN, DE, GB, KR, RU, SE, SG, US.
- (21) 国際出願番号: PCT/JP2003/008959
- (22) 国際出願日: 2003 年 7 月 15 日 (15.07.2003) (84) 指定国 (広域): ヨーロッパ特許 (AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HU, IE, IT, LU, MC, NL, PT, RO, SE, SI, SK, TR).
- (25) 国際出願の言語: 日本語
- (26) 国際公開の言語: 日本語 添付公開書類:  
— 国際調査報告書  
— 補正書・説明書
- (30) 優先権データ:  
特願2002-249771 2002 年 7 月 15 日 (15.07.2002) JP  
特願2003-305418 2003 年 7 月 15 日 (15.07.2003) JP 補正されたクレーム・説明書の公開日: 2004 年 5 月 21 日
- (71) 出願人 および  
(72) 発明者: 照井 聖一 (TERUI, Shoichi) [JP/JP]; 〒024-0082 岩手県 北上市 町分 1 の 3 6 3 の 3 1 Iwate (JP). 2 文字コード及び他の略語については、定期発行される各 PCT ガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語のガイダンスノート」を参照。

(54) Title: EYESIGHT AND HAIR RECOVERY DEVICE, AND MEDICAL TREATING METHOD

(54) 発明の名称: 視力、頭髮回復装置と治療方法



A...BONE 1  
B...MUSCLE  
C...EYEBALL  
D...MUSCLE  
E...BONE 2  
F...EYELID

(57) Abstract: It is intended to improve eyesight or to obtain the effect of preventing hair from turning gray by applying a revolving force, not just a pressure or vibration, to the deep portion of the muscle around the eyeball and the back of the bone thereof, a muscle portion annexed to the irregular portion of the bone around the eyeball, the temple portion, the back of the neck, the muscle for occluding the upper and lower teeth, the scalp or the like, and massaging such portion. That is, the massaging implement of the invention is used such that with one side fixed, a revolving transmission element (1) is pressed against the region to be medically treated.

/続葉有/

WO 2004/021962 A1



---

(57) 要約:

本発明は、眼球周囲の筋肉の奥深い部分と、骨の裏側、眼球周囲の骨の凹凸部分に付随する筋肉部分、こめかみ部分、首後部、上下歯のかみ合わせ筋肉、頭皮その他に、単なる押圧や振動ではなく、旋回力を与え、揉みほぐすことで、視力の向上や白髪防止の効果を得ることができるものである。

すなわち、本発明のマッサージ器具は、一方を固定し、旋回する伝達子（１）を治療する部位に押圧して使用するものである。

1  
補正書の請求の範囲

[2004年3月16日(16.03.04) 国際事務局受理：出願当初の請求の範囲 1-7 及び 10-14 は補正された；出願当初の請求の範囲 8, 9 は取り下げられた；新しい請求の範囲15が加えられた。]

1. (補正後) 一方を固定し、伝達子の先端部を半球状又はこれと同様の角の無い円滑な形状を有し、皮膚の上から押付しても傷付かない様円滑に仕上げた旋回する伝達子1を治療する部位に押圧して使用するマッサージ器具。
2. (補正後) 一方を固定し、旋回する伝達子1又は伝達子の先端部が不意に目球と、骨1.2の間に深く入るのを防ぐ為伝達子先端部に各種の安全具又は骨下端宛部19又は深度安全具21等を有し、先端からの挿入深さを2mm~15mm位の間において調整可能とし、太さを直径3mm~10mmの間に定め、直線又は先端部に曲げ角を有し材質を硬質又は軟質の合成樹脂、ゴム、シリコンゴム、他で構成する伝達子1を眼部周辺に押圧して使用する請求項1記載のマッサージ器具
3. (補正後) 一方を固定し、旋回する伝達子1又は材質を竹、又は硬質材にゴム又は硬質ゴム等で覆い構成した伝達子1をこめかみ周辺に押圧して使用する請求項1記載のマッサージ器具
4. (補正後) 一方を固定し、旋回する伝達子1又は材質を竹、又は硬質材にゴム又は硬質ゴム等で覆い構成した伝達子1を、上歯と下歯のかみ合せ筋肉に押圧して使用する請求項1記載のマッサージ器具
5. (補正後) 一方を固定し、旋回する伝達子1又は材質を竹、又は硬質材にゴム又は硬質ゴム等で覆い構成した伝達子1を、首後部に押圧して使用する請求項1記載のマッサージ器具

6. (補正後) 携帯電話に旋回する伝達子 1 又は伝達子の先端部が不意に目球と、骨 1.2 の間に深く入るのを防ぐ為伝達子先端部に各種の安全具又は骨下端宛部 19 又は深度安全具 21 等を有し、先端からの挿入深さを 2mm~15mm 位の間において調整可能とし、太さを直径 3mm~10mm の間に定め、直線又は先端部に曲げ角を有し材質を硬質又は軟質の合成樹脂、ゴム、シリコンゴム、他で構成する伝達子 1 を駆動する動力装置を有し、伝達子 1 を治療する眼部に押圧して使用するマッサージ器具
7. (補正後) 携帯電話に回転体の反動力で駆動する伝達子 1 又は伝達子の先端部が不意に目球と、骨 1.2 の間に深く入るのを防ぐ為伝達子先端部に各種の安全具又は骨下端宛部 19 又は深度安全具 21 等を有し、先端からの挿入深さを 2mm~15mm 位の間において調整可能とし、太さを直径 3mm~10mm の間に定め、直線又は先端部に曲げ角を有し材質を硬質又は軟質の合成樹脂、ゴム、シリコンゴム、他で構成する伝達子 1 を有し、伝達子 1 を治療する部位に押圧して使用するマッサージ器具
8. (削除)
9. (削除)
10. (補正後) 一方を固定し 安定錘 8 を有し、旋回する伝達子 1 又は形状の異なる各種の伝達子 1 又は伝達子の先端部が不意に目球と、骨 1.2 の間に深く入るのを防ぐ為伝達子先端部に各種の安全具又は骨下端宛部 19 又は深度安全具 21 等を有し、先端からの挿入深さを 2mm~15mm 位の間において調整可能とし、太さを直径 3mm~10mm の間に定め、直線又は先端部に曲げ角を有し材質を硬質又は軟質の合成樹脂、ゴム、

シリコンゴム、他で構成する 伝達子 1 を治療する部位に押圧して 使用する請求項 1 のマッサージ器具

11. (補正後) 一方を固定し、旋回する伝達子 1 又は材質を竹又は硬質材にゴム又は硬質ゴム他等で覆いを頭皮に押圧して頭皮マッサージする請求項 1 又は 10 記載のマッサージ器具
12. (補正後) 伝達子 1 を 2~3 列配置し、伝達子のマッサージ有効の長さを 10mm~80mm としてその伝達子 1 の両側を長く、中央部を短く構成し、握り部 10 有し、伝達子 1 を頭皮に押圧して旋回し使用する 請求項 1 又は 10 記載のマッサージ器具
13. (補正後) 伝達子 1 を複数又は 1~2 列配置し伝達子のマッサージ有効の長さを 50mm~100mm として、その伝達子 1 の両側を高く、中央部を低く構成し、伝達子 1 又は材質を竹又は硬質材にゴム又は硬質ゴム他で覆い旋回速度、旋回半径等一部又は全部を制御した伝達子 1 を旋回し、首後部に押圧してマッサージする請求項 1 記載のマッサージ器具
14. (補正後) 施療する部位に応じて各種の伝達子 1 有し、各種の伝達子の種類を頭の上部に合う様 伝達子 1 を 2~3 列配置しての長さを変えて構成し、一方は首後部に合う様 伝達子 1 を 1~2 列配置しこの長さを変えて構成し、別に、こめかみ周辺に押圧する伝達子 1、上下歯を動かす筋肉に押圧する伝達子 1、前記の眼部以外の伝達子の材質を竹又は硬質材にゴム又は硬質ゴムで覆い眼部に押圧する伝達子 1 を装着し、これらの全部 又は 一部の部位を マッサージ可能とする伝達子 1 を旋回する旋回発生部 5 に連動し旋回速度、旋回半径  $r$  を固定又は加減可能とし、握り部 10 を有する視力総合施療を可能とする請求項 1 記

載のマッサージ器具

15. (追加) 伝達子 1 を駆動する旋回発生部 5 の回転数加減部等と被験者の乗る椅子又は台等で被験者の施療部分との位置関係を特定し、伝達子 1 の位置、旋回速度、旋回半径  $r$  等を制御し、前記の構成を一つのシステムとした請求項 2 記載のマッサージ器具

## 条約第 19 条 (1) に基づく説明書

請求の範囲第 1 項は伝達子 1 の基本的形状について明確にした。

請求の範囲第 2 項は眼部の伝達子 1 の基本的形状について明確にした。

この形状については日本国特許庁に 2002 年 11 月 5 日と 2002 年 11 月 18 日付補正手続を終えているものである (出願番号 特願 2002-249771)

請求の範囲第 3 項は一般に使れる伝達子の材質を明確にした。

この形状については日本国特許庁に 2002 年 7 月 14 日付出願手続を終えているものである。(出願番号特願 2002-249771)

請求の範囲第 4 項は前記第 3 項と同様の理由により伝達子の形状を明確にした。

請求の範囲第 5 項は前記第 3 項と同様の理由により伝達子の形状を明確にした。

請求の範囲第 6 項は眼部の伝達子 1 の基本的形状について明確にした。

この形状は前記第 2 項と同様日本国特許庁に補正手続を終えているものである。

請求第 7 項は前記第 6 項を同様補正手続を終えているものである。

請求項第 10 項は伝達子 1 の形状について基本的形状を明確にした。

この形状については日本国特許庁に 2002 年 11 月 28 日付出願手続を終えているものである。(出願番号特願 2002-249771)

請求項第 11 項は錘を有する手で持って使う形状のものについて、伝達子の形状を明確にした。

請求項第 12 項は伝達子 1 の形状と配置を明確にした。

請求項第 13 項は伝達子の形状と配置を明確にした。

請求項第 14 項は請求項 3、4、5、11、12、13 の施療効果が視力向上を支援補完するものである事から眼部の施療する部位に応じてその形状と材質を明確にして第 1 項から分割したものである。

請求項第 15 項は椅子と台を有して一つのシステムを形成する眼部のマッサージ器具について明確にした。